

マーケットの動き (2023年3月27日～3月31日)

先週の米国株式市場は、前週末比で上昇しました。

欧米の金融システム不安が和らぐ中、米国半導体大手決算を受け半導体業界の先行き不透明感が後退したことや、3月の米国PCE（個人消費支出）物価指数の伸び率が市場予想を下回りFRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げ長期化に対する警戒感が和らぐなど、米国株式は週を通して上昇基調となりました。

欧州株式市場は、おおむね米国に連動した推移となりました。

投資環境見通し (2023年3月)

外国株式相場は、米国、欧州とも上値の重い展開

企業業績については、サービス業などに持ち直しの動きがみられることがプラス材料となる一方で、インフレの高止まりやこれまでの金融引き締め政策による景気への影響、業績見通しが引き下げられる可能性などマイナス材料も残るとみられます。こうした環境下、米国株式相場は、堅調な雇用や消費を背景とした景気が軟着陸するとの見方に支えられる一方、インフレが鎮静化するには時間を要するとの見方から金利水準が高止まる中、これまでの金融引き締め政策による景気への影響から企業業績の下押し圧力が続き、上値の重い展開になるとみえます。欧州でも、ガス不足に対する懸念の後退や中国のゼロコロナ政策終了による外需回復期待が高まる一方、堅調な雇用による賃金上昇圧力がECB（欧州中央銀行）のインフレに対する警戒感を強めていることに加え、実質所得の減少から消費意欲の減退が想定されることから、米国市場と同様に上値の重い展開を予想しています。

	3月31日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,109.31	3.48%	3.51%	14.61%	▲9.29%
NYダウ	33,274.15	3.22%	1.89%	15.83%	▲4.05%

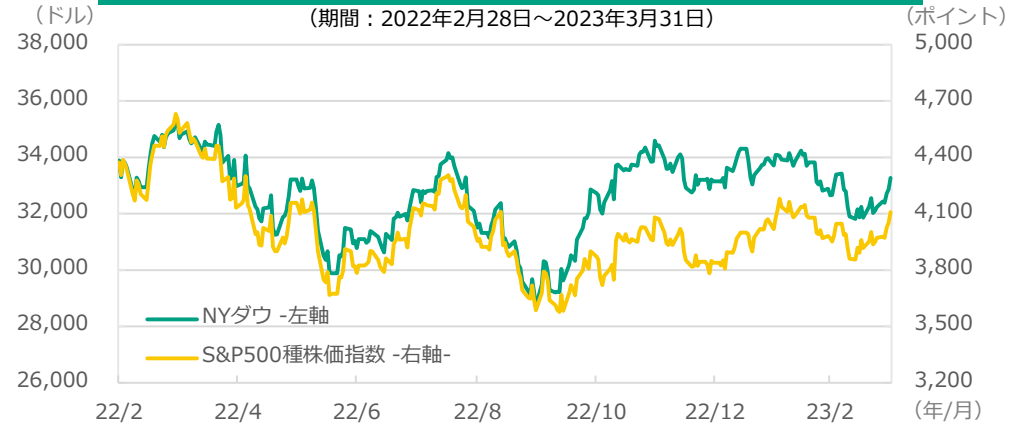
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

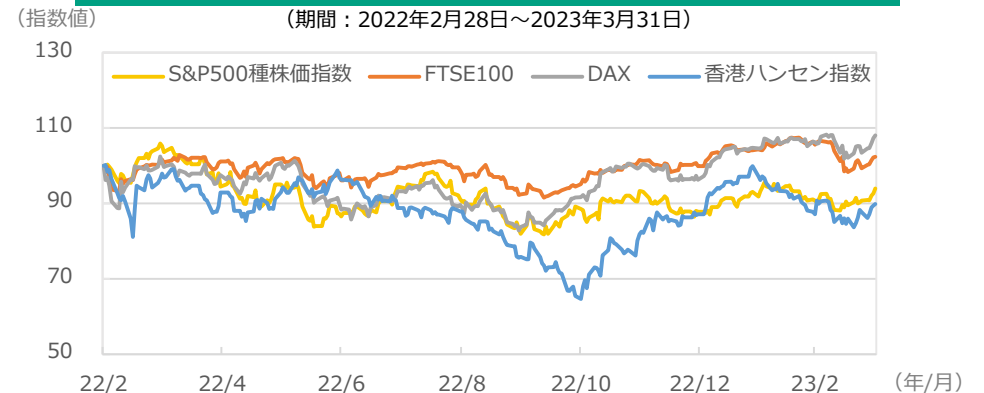
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202303_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



※2022年2月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成